

飲料（酒類を除く）製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	11～12	会社の工場で、ろ過後の温泉水を熱殺菌処理を行うため機械配管内を薬液洗浄した後（2週間に1回定期的な作業）、機械を作動させ配管内を確認したところ、浮遊物があったため洗浄をやり直そうとした際、配管内の製品水が高温（85℃程度）だったのにもかかわらず、配管継手を取り外してしまったため、配管内の製品水が漏れて両腕にかかり火傷した。	27	391	11	10～29
2017	2	10～11	お客様宅へウォーターサーバー設置のため持ち上げた。その時、腰に違和感をおぼえたので少し休憩した。休憩後痛みが和らいだので仕事を続けたが、翌日起床時に立ち上がれない程の腰の痛みが出た。	27	611	19	10～29
2017	3	10～11	製造課EラインからJラインへ業務状況を確認する為、ベルトコンベア下の通路を通ろうとした所、コンベアに頭部をぶつけそのままよろけベルトコンベアの柱に背部を打ち付けた。頭部はヘルメット着用していたため怪我は無かったが、背部に腫れと痛みが生じた。	54	224	3	50～99
2017	3	1～2	作業中に便所に行く際、急いでおり、付近は外灯も無く辺りが暗かった為、通路の陥没した箇所に右足をとられ挫いた。	41	417	2	100～299
2017	4	10～	缶瓶ラインで空瓶供給作業中、積み上げたパレットシートが満杯になったため、フォークリフトで排出してもらおうと置場の囲い柵	25	414	1	100～

		11	(地上約2.9メートル)を開けたところバランスを崩し、開けた柵につかまったが反動でそのまま落下した。					299
2017	5	11~12	製造3課70ビン、検ビン工程において、午前作業後にコンベアの注油をしていた時、デパレタイザー（パレット積みした容器をコンベアに降ろすロボット）内のコンベアに注油しようとして、一時停止していたデパレタイザーの安全柵内に進入し、注油口を確認しようとコンベアに頭部を入れた時、デパレタイザーのアームが作動して、作業者の頭部をコンベア上に押し付けてしまい、頭部を骨折した。	37	167	7	~	50 99
2017	5	8~9	抽出・調合の製造工程において、被災者が抽出後の茶カスの廃棄作業中、本来は茶カスの投入口は閉めておかなければならないが、常に開いており、また作業中はベルトコンベアを停止させ作業を行わなければならないが、それを怠り、作業中に足を滑らせ左足首をベルトコンベアに挟まれた。	45	224	7	~	30 49
2017	5	16~17	廃棄品置場整理の為、テスト廃棄缶のプレス作業中に、プレス後の缶を型枠より取外す際に型枠がずれて左手人差指先端を型枠に挟み、指尖断裂した。	28	159	7	~	100 299
2017	6	7~8	ビンを洗浄する機械の駆動箇所にグリスを塗り付ける作業をしていたところ、作業者が素手で運転中、上昇してきた機械に右手人差指第一関節、中指第一関節を挟まれた。	42	169	7	~	10 29
2017	6	11~12	出荷作業中に、箱詰めとなった飲料水7L製品のPPバンド掛け、およびパレットへの積み込み作業を行っていた。積み込む場所が狭く、無理な体勢で製品を持ち上げようとしたため、腰に相当の負荷がかかり、ぎっくり腰を起こしてしまった。	49	611	19	~	50 99
2017	7	10~11	屋外の洗剤送液用配管の自動洗浄が終了し、ストレーナーの手洗浄のためクランプを緩めストレーナーを取り出そうとしたところ、手動バルブ操作による配管内の残熱水の排液作業をしなかったため、熱水が噴出し、避けた際に背中から臀部に浴び火傷を負った。	20	391	12	~	300 499
			飲料製造工場内のパッケージングエリアで、ケースコンベアのオー					

2017	7	20～ 21	バブリッジを渡った先で、部品を仮置きするために置いていたパレットに足を引っ掛け転倒し、左肩を強打した。	56	417	2	—
2017	7	8～9	パイナップルを円型筒状に割り貫く機械にて、パインを掴んで固定する金属のアームと、アームを水平に一時固定する金属のストッパーに右手を巻き込まれ、中指と薬指を挟んだ。	47	165	7	—
2017	10	7～8	製麺室建物の屋根に設置してある貯水タンクが破損し、その状況を確認中に、誤って屋根のプラスチック部分に乗ってしまい、落下した。	45	416	1	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	第二工場ボイラー室南側ドアの上部に、脚立を使用してダンブラを設置しようとした際、脚立設置場所が不安定だったため、バランスをくずし壁を掴んだ。その際に左肩を痛めた。※ダンブラ：ダンボール形状のプラスチック、脚立に乗った状態でバランスを崩し、壁に手をついた時に骨折した。	73	371	1	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	通路（廊下）トイレ前にて、地面に落ちていた水滴をモップで拭き取ろうとした際、水滴があちらこちらに落ちていたため、滑って転んで左膝の内側の靭帯を損傷した。また転んだ影響で、背中から首にかけて痛めた。	65	417	2	300 ～ 499
2017	10	18～ 19	工場内で、製品の検品作業中、製品（500PET×24本）を運ぼうとしている時に、腰に違和感を感じ、徐々に痛みが増し動けなくなった。	38	921	19	50 ～ 99
2017	10	16～ 17	プラットホームの建物と建物の境、屋根のつなぎ目から雨水が落ちるため、雨水を受けるための桶があり、排水のためリフトで桶を持ち上げて作業していた時、リフトの持ち上げる角度が高くなるにつれ桶にかかるリフトのつめが浅くなり、誤って桶がすべり落ち、30cm位の高さから傾ける補助をしていた私の左足の上にとんと落ち、左足の親指と人差し指を骨折した。（安全靴装着）（桶80cm×130cm×60cm雨水の量も含め約500kg）	42	391	4	100 ～ 299

2017	10	9~ 10	容器洗い場で、洗い作業中空容器の乗ったパレットを移動しているのを手伝おうと近づいたところ、空容器が倒れかかってきて支えきれず後ろに倒れ、後頭部を打ち、左手の上に倒れてきた容器が当たり、指の爪を裂傷した。	31	611	5	30 ~ 49
2017	11	11~ 12	研修室で下処理の洗い物をしていた。忙しくトイレの上にあったはさみが水槽に落ちたのに気付かず洗いを続けたため、はさみの刃が右手薬指に当たってしまった。	41	379	8	10 ~ 29
2017	11	13~ 14	当社工場内タンクの洗浄作業を終え、タンクから降りようとしていた。タンク横のホモゲナイザー機のカバーの天板に清掃道具を乗せていた為、右足を間天板に乗せ踏んだ際、長靴の底が滑り天板の角に右太ももを打撲したが動けたのでそのまま作業を続けた。自分の判断で大丈夫だと思いそのまま放置した。後日、内出血し腫れているようなので病院を受診した。その後、通常通りの勤務が出来ていたが、しばらく経って高熱が出たので病院へ行くと化膿していて、そのまま入院となった。	34	911	90	100 ~ 299
2017	12	17~18	当社敷地内のゴミ置き場において、ゴミ分別作業中、瓶入りの袋を開けたところ、割れた瓶が入っており、破片の先が指の根元に当たり、切れて出血した。	65	529	8	10 ~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)